

平成二十一年度 入学試験問題 (平成21年1月31日)

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の――部にあたる漢字を1～4から選びなさい。

1、母のジユウメンが頭に浮かぶ	1、重	2、汁	3、渋	4、充
2、カントウ精神をたたえる	1、敢	2、完	3、関	4、貫
3、ギョウシユクした内容	1、業	2、行	3、仰	4、凝
4、立ち直りのケイキとなった事件	1、契	2、計	3、形	4、係
5、シヨウドウ的な行動	1、傷	2、衝	3、争	4、招
6、適切なソチだった	1、処	2、訴	3、疎	4、措
7、自然のセツリ	1、利	2、殺	3、節	4、撰
8、注意力がケツジヨしている	1、除	2、徐	3、如	4、助
9、彼女の特徴的なセイヘキ	1、声	2、性	3、生	4、制
10、なんともメイジヨウしがたい光景だ	1、情	2、常	3、状	4、定

二、次の語の読みとしてふさわしいものを1～4から選びなさい。

11、嫡子	1、てきし	2、ちよくし	3、ちやくし	4、ちようし
12、災禍	1、さいなん	2、さいか	3、さいわい	4、さいうん
13、下賜	1、かし	2、かよう	3、げし	4、げよう
14、私淑	1、ししゆく	2、しせん	3、しししょう	4、しせい
15、遁世	1、じゆんよ	2、とんよ	3、じゆんせい	4、とんせい
16、必定	1、ひつてい	2、ひつてき	3、ひつじよう	4、ひつぜん
17、昂然	1、たいぜん	2、こうぜん	3、ふんぜん	4、きぜん
18、佇	1、ためる	2、とめる	3、おちこむ	4、たたずむ
19、慈	1、いつくしむ	2、かなしむ	3、さげすむ	4、あわれむ
20、凌	1、はずむ	2、こえる	3、しのぐ	4、よける

三、☆の意味になるように、()に入る言葉を1～4から選びなさい。

21、☆ この世のすべてのもの	()	羅万象	1、森	2、山	3、宙	4、全
22、☆ 軽はずみでいいかげんな行動をすること	軽 ()	妄動	1、動	2、行	3、歩	4、挙
23、☆ 敵どうしが一つ所に居合わせることに	呉越同 ()	()	1、所	2、舟	3、車	4、士
24、☆ 自分で自分を苦しめること	自 ()	自縛	1、由	2、動	3、業	4、縄
25、☆ 黙って深く考え込むこと	()	思考	1、深	2、充	3、沈	4、周

四、26～30の問いに答えなさい。

26、次の語の対義語を1～4から選びなさい。

☆ 分析 1、放置 2、総合 3、合成 4、散乱

27、次の1～4の――部について、表記が正しいものを一つ選びなさい。

- 1、物資を隠得する 2、仮空のもうけ話をでっちあげる
- 3、紙幣の枚数を確認する 4、除行して慎重に運転する

28、次の1～4の四字熟語の中で、表記が正しいものを一つ選びなさい。

- 1、日新月异 2、面従腹背 3、意气統合 4、画竜点睛

29、次の1～4の慣用句・ことわざの（ ）に入る言葉が動物ではないものを一つ選びなさい。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1、その（ ）は桑名の焼きはまぐり | 2、夫婦げんかは（ ）も食わない |
| 3、借りてきた（ ）のようだ | 4、（ ）に真珠 |

30、次の意味を示す四字熟語を1～4から選びなさい。

- ☆ 一人で何人分も働くこと 1、一目瞭然 2、生殺与奪 3、多士済々 4、八面六臂

五、次の文を読んで後の問いに答えなさい。なお、A～Lは段落を示す記号です。

A 人は意識において考えるよりも先に、まず身体において考えているというべきであろう。ある①身体所作の体系を採用したその段階において、人の身体は、意識より先にすでに考えは始めているのだ。少なくともある種の考え方、思考の流儀を採用しているのである。そういえば、十九世紀の小説の名手たちは、登場人物を描くにあたって、何よりも、その顔かたちと身ごなしを克明に描きだしていた。思想はまずその身体に現れると直感していたに違いない。

B ここには、面白い問題が山積している。

C 身体の問題というと、人はまず自分の身体を眺める。手を見、さらには我が身を鏡に映しだしてみる。（a）、身体というと、人はまず個人の身体を思い浮かべるのだ。（b）たいていは、どこかしら恥ずかしくなって、肩をすくめる。身体は個人に属するのであって、集団に属すわけではないというわけだ。（c）、ほんとうはそうではない。仕草や表情にしてもそうだが、②共同体の基盤は身体にあると言っていいほどなのである。

D 日常生活の随所にその証拠がころがっている。（d）、人はなぜスポーツを観戦するのか。勝敗の行方を見極めたいと思うからか。そうではない。人の身体の動きに同調してみたいのである。相撲でひとりの力士が土俵を割りそうになりながら残すとき、見るものも同じように反り身になって相手の回しを握り締めているのである。（e）、手に汗握るのだ。つまり、スポーツを見るものは、そのスポーツと一緒に戦っているのである。野球にしてもそうだ。投球が決まった一瞬、まるで指揮者に操られたように、会場の全体がどよめく。投手や打者の呼吸に、全観衆の呼吸が同調しているからである。それが人間の身体なのだ。

E 想像力といえば、意識の問題と考えられがちだが、そうではない。それはまず身体の問題なのだ。身体がまず他人の身体になりきるのである。その運動、その緊張、その痛みを分け持ってしまう。想像力の基盤は身体にあるとさえ言いたいほどである。

F 模倣もまた身体の想像力のひとつと考えるといい。人は、歩き方、走り方、泳ぎ方を習うが、教科書によつてではない。身体を介して習うのである。実際、子供は、教えるよりも先に真似ている。身体の想像力は、意識の想像力を上回る。稽古事の経験者ならば誰でも思いあたるだろうが、言葉による注意は、身体の想像力のきっかけにすぎない。

G 舞踊に関心を持つようになってはじめて、③以上の事実に気づいた。人はなぜダンスを見るのか。何よりもまず身体そのものが、他人の身体と同調したいからなのだ。舞台を見るとき、人はダンサーとともに踊っているのである。回転し、跳躍しているのである。だからこそ、見終えた後に、快い疲労を覚えるのだ。また、だからこそ、より美しく舞うもの、より華やかに踊るものに惹かれるのである。スポーツにしても同じだ。人は、より強い、より速い、より美しいフォームに惹かれる。身体の想像力の限界を試そうとでもするように、人は舞台を見る。試合を見る。見ているのは目ではない。身体なのだ。

H そういえば、昔はよく、尊敬する人物の肖像や彫刻を机上に飾ったものだ。なぜか。見ることが、全身的な行為であると信じられていたからである。意識の想像力以上に、身体の想像力が重要であることが直感的に把握されていたからだ。人物だけではない。たとえば雄大な光景は人を雄大にする。人は全身で見るのであり、見た瞬間何よりもまず身体がその光景に同調しようとするのだ。

I このように考えると、なぜ舞踊と遊戯が神事として誕生したかが分かってくる。舞踊と遊戯。すなわちダンスとスポーツは、おそらくその起源をひとつにしている。いずれも、身体を介して、人間が集団を成していること、共同体を形づくっていることを確認する行為にほかならなかったのである。神前で舞うとき、共同体の成員もまたともに舞うのだ。相撲にしてもそうだ。観客もまた力を尽くして戦うのである。たとえば綱引きのような遊戯は、身体のような共同性をそのまま象徴していると言っている。しかも舞踊や遊戯は、身体を介して、人と人の共同性をも教えたはずである。身体の想像力は、人と動物、人と自然の境界をも、やすやすと越えたはずだからだ。

J 近代になって、意識と身体は（X）と分けられた。同時に、五感とその領域も鋭く分割された。視覚の領域には美術が、聴覚の領域には音楽が配分された。そのいずれにもかかわる舞踊や演劇は、いささか曖昧な芸術として蔑まれた。身体の領域はただ健康の問題、医学の問題へと差し回されたのである。そして、ひたすら健康の技術にかかわるものとして、（Y）の思想が登場したのだった。

K だが、いまや近代の全体が問い直されているのである。美術も音楽も、いや文学さえもが、ジツハ全身的な感受の対象である

ことが明らかになりつつある。たとえば文体は、呼吸を通して全身にかかわるのである。芸術の鑑賞は、いまや身体の想像力を抜きに語ることはできない。いわんや舞台芸術の鑑賞、スポーツの観戦にいたっては、まさに身体の問題にほかならないのである。

L おそらく、④新しい観客論がいま要請されているのである。そう、たとえばオリンピックを、そのような観客論の立場から考察し直すような視点が要請されているのだ。

三浦 雅士 「考える身体」より

31、（ ） a、eに入る言葉が、「しかし」、「だが」などの逆接の言葉であるものが一つだけあります。それを選びなさい。

- 1、aのところ 2、bのところ 3、cのところ 4、dのところ 5、eのところ

32、（ ） Xに入る言葉を次から選びなさい。

- 1、自然 2、雑然 3、整然 4、画然

33、（ ） Yに入る言葉を次から選びなさい。

- 1、保健体育 2、体位向上 3、健康増進 4、学校給食

34、文中で用いられている次の1～4の言葉のうち、―――①「身体所作」と同じ内容ではないものを一つ選びなさい。

- 1、顔かたち 2、身ごなし 3、仕草 4、模倣

35、―――②「共同体の基盤は身体にある」とありますが、これを具体的に述べている部分があります。それを含む段落を次から一つ選びなさい。

- 1、Dの段落 2、Gの段落 3、Hの段落 4、Iの段落 5、Jの段落

36、―――③「以上の事実」とありますが、この内容に当たるのはどの部分ですか。次から一つ選びなさい。

- 1、A段落からF段落まで 2、C段落からF段落まで 3、D段落からF段落まで 4、E段落とF段落

37、文中にしばしば用いられている「身体の想像力」という言葉について説明した次の1～4のうち、正しくないものを一つ選びなさい。

- 1、想像力は意識だけの問題だという考え方は間違っている。
2、子どもが水泳を習うとすると、言葉で教えられるより先に真似ている。
3、人は身体 of 想像力があるから、言葉による指導は本来不必要だと言える。
4、人がスポーツを観戦する理由をこの身体 of 想像力で説明することができる。

38、―――④「新しい観客論がいま要請されているのである」とありますが、なぜですか。次から一つ選びなさい。

- 1、観客がスポーツの本質を理解しないと、オリンピックのような場での選手の更なる飛躍は期待できないから。
2、スポーツの観戦を身体の問題としてとらえ直す視点が必要な時期になっているから。
3、観客と選手が同調できるような場をもっと作らないと、日本のスポーツの発展は望めないから。
4、芸術の鑑賞とスポーツの観戦を同じ次元のものとしてきた従来の発想は間違っているから。

39、本文の内容と合っているものを次から一つ選びなさい。

- 1、十九世紀の小説の名手たちは共同体の基盤が身体にあることを自覚していた。
2、子どもは大人より身体 of 想像力が豊かだから、早いうちからスポーツを習わせるのは合理的であると言える。
3、舞踊や競技を鑑賞したり観戦したりするとき、人は身体 of 想像力を働かせている。
4、近代以降、舞踊や演劇において身体性が希薄になり、身体はもっぱら医学の領域に位置付けられた。

以上

一、

6	1
4	3
7	2
4	1
8	3
3	4
9	4
2	1
10	5
3	2

二、

16	11
3	3
17	12
2	2
18	13
4	1
19	14
1	1
20	15
3	4

三、

21
1
22
4
23
2
24
4
25
3

四、

26
2
27
3
28
2
29
1
30
4

五、

36	31
4	3
37	32
3	4
38	33
2	1
39	34
3	1
	35
	4